

特集

韓国・春川市で開催
AVIAMA総会レポート



Dogushi Vol.39 2022年11月発行 発行：二人形劇のまち飯田「運営協議会」
制作：NPO法人いいだ人形劇センター 〒305-0044 長野県飯田市中町1-2 TEL:050-3583-3594 FAX:050-3583-3594 E-mail: iida-puppet@misjams.or.jp

掲示板 いいだ人形劇センター からのお知らせ

チケット発売
11月21日  ましゅ&Keiの
クリスマス会

ましゅ&Keiがクリスマスに贈る大人気企画。リクエストにお応えて今年もゲストにピアニストのシモシュを迎え、音楽もパフォーマンスも楽しめるプログラムです。会場はいずれも飯田人形劇場です。



オトナのための クリスマスパーティ!

12月23日(金)19:00開演
[料金]一人2,000円
ペア3,600円

ファミリーで楽しむクリスマス会

12月24日(土)11:00開演
[料金]子ども(3歳~中学生)600円
大人1,200円
親子1,500円(大人1人・子ども1人)
※3歳未満無料

■予約・問合せ/いいだ人形劇センター
☎050-3583-3594

Dogushi

並木 さんぽ

これまで飯田で行ってきた人形劇のワークショップ。今年から出張で行っています。内容は限られたものになりますが、複数のプログラムを考えて人形劇の楽しさを少しずつ広げられたらと考えています。お近くで開催の折にはご参加ください。また、計画したいという方は気軽にお声掛けください。

次号は2023年1月発行予定です。(帆)

表紙画:井原千代子



View of IIDA

飯田市龍江の大宮八幡宮秋季例祭で今田人形の公演が行われました。10月15日の宵祭りでは和ろうそくの灯りの中、今田人形座、竜峡中学校今田人形座が上演。3年ぶりとなる奉納公演が盛大に執り行われました。

第19回 AVIAMA 人形劇でつながる世界の都市

エッシュ・シュル・シュール (ルクセンブルク)

ルクセンブルクはベルギー、フランス、ドイツに囲まれた小さな国で、その北西部に位置するのがエッシュ・シュル・シュールという町です。

エッシュ・シュル・シュールの人形劇フェスティバルは2001年に始まり、キリスト教の祝日であるペンテコステの日で開催されていました。このフェスティバルは2年に1回行われ、若者や大人向けに幅広いスタイルの人形劇やオブジェクトシアターで構成されています。人形劇は住民の納屋や車庫、教会で上演され、住民は気軽に見ることができます。また、人形劇だけでなくワークショップやコンサート、出店などもあります。

当初、フェスティバルはMASK&NADAという様々な芸術分野で活動するアーティストの団体によって運営されましたが、途中でLes Rotondesという団体に代わりました。Les Rotondesは2回フェスティバルを開催しましたが、資金不足のために2020年のフェスティバルは中止になってしまいました。





zoomを駆使した国際会議。写真上段中央がクローディヌ・ルドゥAVIAMA会長、左下が佐藤健飯田市長

ました。このような縁ですから、春川市、雲林縣との関係は大事にしていきたいところ
です。
AVIAMA総会は人形劇関連都市による国際会議です。会場ではフランス語を中心にスペイン語、英語に加え今回は韓国語が同時通訳で飛び交っていました。言葉の壁はありますが、昨今の世界情勢もあり、他の国とも意思疎通し理解しあう努力が必要だと感じました。その手段の一つが人形劇といえるでしょう。

特集 韓国・春川市で開催 AVIAMA 総会レポート

韓国・春川市のベアーズホテルのコンベンションホールで開催されたAVIAMA総会。21の加盟都市・自治体のうち現地には飯田市を含む5都市の代表が集まり、世界各国とオンラインでつなぎ意見や情報を交わしました。

飯田文化会館館長 下井 善彦



仁川空港にて。熱烈的な歓迎を受けました

AVIAMA10周年アニバーサリー



AVIAMA(人形劇の友・友好都市国際協会)の2022年度総会が、8月26・27日の2日間の日程で、ソウルから北東へ特急列車で1時間の春川(チュンチョン)市で開催されました。
協会の副会長である佐藤健飯田市長は、オンラインで会議に参加しましたが、私は現地に赴き総会にリアルで参加してきました。
総会では、第1回目となるAVIAMA賞を、ウクライナのチェルニヒウ人形劇場に贈ることを決定しました。ウクライナのウニマ(国際人形劇連盟)関係者から、ウクライ



佐藤市長は飯田市からリモート参加。隣は飯田文化会館職員で通訳のダコタ・ミドウ

AVIAMA

人形劇の友・友好都市国際協会

人形劇の活動を支援する都市・自治体の連携協力体制を構築する国際ネットワークです。2022年10月現在、アジア、ヨーロッパ、アフリカ、北米から21の都市・自治体が協会に加盟しています。飯田市は2010年の協会発足時から加盟都市として名を連ねています。

さて、私自身は総会会場であるホテルにカンツメで、この時、別会場で開催されていた春川人形劇祭を見ることはできませんでしたが、またの機会をとらえて文化や食にももっと触れたいと思っています。

いいだ人形劇フェスタと友好提携を結ぶ「春川人形劇祭」

1989年に始まった韓国を代表する人形劇の祭典。今年は8月26日から9月4日の日程で開催され、春川人形劇場を中心に春川市一帯で公演が行われました。



写真提供:いいだ人形劇フェスタ実行委員長 原田雅弘

マスコットキャラクターの「COCOBAU(ココバウ)」。後方に見えるのが春川人形劇場。壁面に描かれたアートがとてもユニーク



春川人形劇場の敷地内にある屋外ステージでの上演の様子

ナの現状について直接報告があり、人形劇をはじめとする文化活動も大きな打撃を受けているとのことでしたが、今回の受賞が少しでも現地の助けになればと思います。
春川市の人形劇祭と、いいだ人形劇フェスタ実行委員会は、雲林縣(台湾)も加えた3者で東アジア3大人形劇祭友好提携を結んでおり交流を深めています。さらに2018年に飯田市でAVIAMA総会が開催された際に、飯田市からの勧誘をきっかけに春川市も雲林縣もAVIAMA加盟が決定し



総会の祝賀公演で韓国の伝統的な人形劇を披露した「ウンマケンケン」は、2019年のいいだ人形劇フェスタに来てくれた劇団でした

わが家の年中行事

● 人形劇団ししかばぶ 井村 裕・井村 律子



「わいわいパレード」に参加するのも楽しみの一つです

家族劇団のししかばぶは、新婚旅行が
いいだ人形劇フェスタだし、赤ちゃんの頃
から連れてこられていた子ども達には、
飯田はドイツニerlandへ行くより楽し
みな場所になっている。キユとする思い
出が一杯なのだ。だから、いいだ人形劇フ
ェスタは永遠に続けてもらわなくてはな
らない。

第28回 すべての道は 飯田へ通ず



いいだ人形劇フェスタの日曜早朝に行
われるアーリーモーニング公演にて。「リ
ッチーくんのかみしばい」は、年々エスカ
レートして2019年は枚数80枚超え

飯田での出会いも素敵だった。ココンの
山田さんをはじめ、思いもよらない出会
いがあり、他府県の人形劇フェスタに呼んで
頂くきっかけにもなった。ドイツニラン
ドへ行っただけではこうはいかない。それ
もこれも飯田のおかげである。
この規模の祭りを作り上げる努力は
並大抵のものでは無いだろう。それなの
に、スタッフの皆さん、もれなく楽しそう
なのも素敵だ。
ししかばぶは三重県伊勢市の劇団だ
が、飯田市は伊勢市と提携都市だそう
だ。ということは、ししかばぶといいだ人
形劇フェスタも提携しているようなもの
なのだ。いやもう、そういうことにしたい。
余談だが、飯田用の特別な出し物「リ
ッチーくんのかみしばい」。シリーズ最新
作はコロナ禍で3年寝かせてある。早く
上演したいよう。
次号は「パネルジャム」の見米豊さんです

活動報告 8

人形たちとつくるコミュニティスポット ほっこり



企画・制作 エツコワールド
「いやだいやだのきかんぼ ひよこ」



企画・制作 エツコワールド「トラックとらすけ」

ほっこりには季節ごといろいろな
人形たちがやってきます。遠い昔に全
国各地でたくさん上演した後、飯田に
来て長い期間休んでいました。そんな
人形が再びみなさんと会うために久し
ぶりにほっこりに来たのです。飯田は川
本喜八郎さんの『三国志』や『平家物
語』、竹田人形座の糸操り人形が知ら
れていますが、それ以外にも実はたく
さんの人形が保管されています。もし
かすると「見たことある！」というキャ
ラクターがいるかもしれません。以前に



人形劇団むすび座「サンショウウオーズ」

いでしょうか。
人形の展示をじっくり見ると、「こん
な風で作っていたんだ」「こつやつて動い
ていたんだ」と、その仕組みに気づくこ
とができます。上演で見た時とは違っ
た楽しみがあります。例えば「トラック
とらすけ」なら、フロント部分を顔に見
立て目をつける、それぞれ特徴のあ
る表情になることが分かります。目の
形や位置、大きさだけでも個性が生ま
れ、自分で作ろうとした時のデザイン
のヒントになると思います。
小さなスペースなのでたくさんの人
形はありませんが、身近にプロ劇団の
作品を見る機会はなかなかありません
ので、気軽にお立ち寄りください。

見た人形に
出会うと、
人形劇を観
た時のこと
だけでなく、
その当時の
さまざまな
記憶もよみ
がえつてく
るのではな
い

Library Cafe

飯田とつながる世界の人形劇図書資料から ㊹

図画と手工の話 日本児童文庫67 山本鼎 著・絵

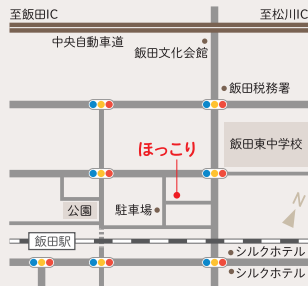
昭和初め頃は全集ブーム、その子ども版ともいえる全76巻の前払い会員制出版は、
庶民がそう易々と手にできる本ではなかっただろう。『図画と手工』のタイトルからは分かり
にくい人形劇もテーマといえる内容で、夏休みに軽井沢の別荘で過ごす子どもたちが
「ぎよーのお芝居」を作っていくという物語風に展開する。2023年に迎える「現代人
形劇の100年」の歴史における最初期の人形劇の本なのである。

この全集は装丁が恩地孝四郎、挿絵に竹久夢二、初山滋、武井武雄、岡本帰一ほか、
編著には北原白秋、小川未明、鈴木三重吉、坪内逍遙、島崎藤村らと顔ぶれも豪華本。

(人形劇の図書館館長・湯見英明)



発行 アルス(1928年9月)



お問合せ
NPO法人いいだ人形劇センター
☎050-3583-3594 担当:木田・後藤
hokkoripuppet@gmail.com



開所時間:毎週 火曜 14:00~17:00
:第1・第3木曜 15:00~18:00
:第2・第4土曜 14:00~17:00
参加費:無料。時間内は自由に入退室
できます
場 所:飯田市高羽町2-5-1
10台収容できる駐車場あり

今後のイベントスケジュール

人形劇を観たり、
音楽の演奏などを聴いて
楽しい時間を過ごしましょう。

日時:11月12日(土)
14時 ミニライブ

※詳細はFacebook・Twitterで
お知らせします



舞い上がれ
社会を変える
みんなの力
休職預金を活用した事業です

参加者募集

張り子でお面をつくろう

11月12日(土)・13日(日)・19日(土)・20日(日)

いずれも10時～16時30分

場所: 飯田文化会館、丘の上結いスクエア

講師: 吉澤亜由美(人形美術家)

対象: 高校生以上、人形づくりに興味のある人

定員: 6人(最少催行人数2人)

料金: 3,000円

※4日間参加してください。4日間の詳しい作業手順はいいだ人形劇

センターのウェブサイト・Facebookでご覧いただけます

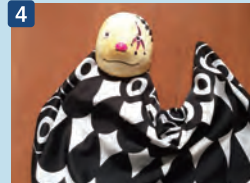
問合せ: ☎050-3583-3594 いいだ人形劇センター



1 デザインを考え型紙をつくり、粘土に石膏をかけるり、粘土でモデリング



3 取り外した石膏を型にして和紙を張り重ねる



4 色付けをして仕上げる

出張ワークショップ 参加無料

ハンドパペットをつくろう

辰野会場

11月8日(火) 13時30分～15時30分

場所: 辰野町立辰野図書館

定員: 10人

問合せ: ☎0266-41-2574 辰野図書館

伊那会場

12月12日(月) 9時30分～12時30分

場所: おもちゃの木(伊那市西町5066-1)

定員: 10人

問合せ: ☎090-4748-3966 おもちゃの木・山岸

わかりやすく話す、読むための基礎講座

2023年1月28日(土)・2月4日(土)

いずれも13時30分～15時30分

場所: 川本喜八郎人形美術館2F映像ホール

講師: 佐藤圭代

(飯田エフエムパーソナリティ・元テレビ高知アナウンサー)

対象: 小学生以上

定員: 10人

料金: 1,500円

※2日間参加してください ※申込受付12月12日(月)から

支援: 信州アーツカウンシル(一般財団法人長野県文化振興事業団) 令和4年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業

人形劇の楽しさをつたえ、ひろげるワークショップ



講師の吉澤亜由美さん(人形美術家)がわかりやすく丁寧に指導

ハンドパペットをつくりました

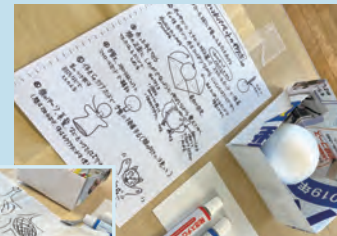
北安曇郡の松川村図書館へ出張講座に行ってきました。3時間で一体の人形を仕上げるワークショップ。一番の“キモ”は頭となるスチロール球に布をはること。球体に平らな布をはっていくのですから最初は戸惑う人続出。講師の吉澤亜由美さんが丁寧に説明をすると少しずつコツをつかみ、はり込み終了。つくりたいキャラクターの絵を描いたり、持参した本や切り抜きを見ながら着々と完成に近づきます。そして3時間後、さまざまな表情の人形が出来上がりました。

つくり方の説明書、スチロール球、ボンドなど一人ずつ用意します

完成した人形を見せ合い、笑顔になる参加者のみなさん



毛糸で髪の毛をつけます



描いてきた絵のとおり仕上げている参加者もいました

人形劇団ひとみ座のアトリエで開催した「映像における人形操演」の講習会



せられたことや、教えられたことを、何とか若い人達に伝えられたらと考えています。
なかなか言葉で表すには難しいことも多いのですが、一つ心に残る言葉は、『「いないいないばあー」の最初のキャラクターである「くう」を、吹き替えで使っていた時「動かしすぎよーくうは、幼い子供なんだから、普通なら二つ表現するところを、丁寧にひとつやるのよ」と、言われたことでした。目からうろこの言葉でした。
このようなことを、集めながら操作の言語化を進めてゆけたらと、思います。

名人上手と言われた人達が高齢になり、一緒に仕事をする場が少なくなるなかで私は、『ひょっこりひょうたん鳥』『トラヒゲを使っていた、南波郁恵さん』『いないいないばあー』で長く一緒にさせてもらいました。その現場で見

劇人協会通信

映像と人形・人形劇 その13

人形劇人協会
理事長 安藤 ばく

9月の13日と20日に「映像における人形操演」と題して、ひとみ座のアトリエで講習会を開きました。
舞台と映像で一番違うところはモニターを見ながら操作すること。舞台ではプロセニアムという大きな枠の中で自分の立ち位置を考えるのに対して、映像ではシーンごとにフレームの大きさや、カメラが違うために、どのカメラで撮られているのかを考えなければならぬことや、介添えをして貰うときのコミュニケーションの取り方として、オノマトペを使うと良いことなどを話させてもらいました。
日本人形劇人協会
舞台や映像番組で活躍している実演家と人形劇に係わる仕事を職業とする専門人形劇人の組織。人形劇人相互の親睦交流、活動条件の改善と社会的芸術的地位の向上をはかることを目的に1967年に設立されました。